

平成28年第2回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

平成28年第2回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	10	山口 政人	ため池の防災・減災について	1
			日本遺産について	
			商品券の経済効果について	
			公共下水道事業について	
			防災行政無線によるチャイムの変更について	
			職員のボランティア活動について	
2	5	森田 明彦	地域防災計画について	2
			選挙権年齢の18歳への引き下げについて	
			塩田津（伝建地区）の整備について	
3	11	芦塚 典子	防災・減災について	3
			子育て支援施策について	
			嬉野市曲について	
4	4	増田 朝子	学童保育について	5
			女性の活躍について	
			ボランティアについて	
5	15	織田 菊男	公共建築物の老朽化対策について	6
			市役所の組織機構改革について	
			空き家について	
6	16	西村 信夫	嬉野市地域防災計画について	8
			嬉野市特定事業主行動計画について	
			所有者不明農地について	

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
7	9	山下 芳郎	嬉野小学校跡地に「こどもセンター」の設置を	9
			ドローンの活用方法について	
			農業問題について	
			高レベル放射性廃棄物の最終処分について	
8	3	川内 聖二	新幹線の高架橋について	11
			台風等の荒天時の通学について	
			嬉野市公共無線LANサービスについて	
9	6	辻 浩一	当市で災害が起きた場合の対策について	12
			地域コミュニティについて	
10	13	梶原 陸也	防災対策について	13
			若者の政策形成過程への参画について	
11	1	生田 健児	景観保全について	14
			商工会との関わりについて	
			情報発信について	
12	17	山口 要	今後の政策・施策展開における問題について	15
			平成28年熊本地震関連について	
			食品ロス問題について	
			建設工事について	
			子ども政策について	
			教育問題について	
一 質 日	般 問 程	6月13日	山口政人、森田明彦、芦塚典子、増田朝子、織田菊男	
		6月14日	西村信夫、山下芳郎、川内聖二、辻浩一、梶原陸也	
		6月15日	生田健児、山口要	

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 23 日

通告者(議席番号 10 番)

山口 政 人

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	ため池の防災・減災について	今日の気象状況は、何時どのような災害が発生するか、わからない中、ため池の決壊被害から住民の生命と財産を守るため、緊急点検を実施する必要があると思うが市長の考えを伺う。
市長 教育長	日本遺産について	志田焼の里を含む2県8市町が日本磁器のふるさと肥前という名称で日本遺産に認定されたが、認定されるに至った経緯と今後どのような展開を考えているのか伺う。
市長	商品券の経済効果について	地方創生のプレミアム商品券の経済効果はどれくらいであったか。
市長	公共下水道事業について	長期間に及ぶ公共下水道整備計画を持ち続けることは現実的ではないと思う。市営合併浄化槽に切り替えてはどうか。
市長	防災行政無線によるチャイムの変更について	元のチャイムに戻す考えはないか伺う。
市長	職員のボランティア活動について	今回の職員の茶摘み手伝いの経過と市長の考え方を伺う。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年 5月23日

通告者(議席番号 5番) 森田明彦

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地域防災計画について	① 市の地域防災計画は現状で問題はないか、計画の早急な見直しが必要ではないか ② 地震についてはマグニチュードでどの位を想定しているか ③ 当市の特殊性（観光客）に対する避難計画は万全か
市長 選挙管理 委員会	選挙権年齢の18歳への引き下げについて	① 引き下げになる要因、背景は何か ② 当市での対象人数は ③ 対象者の投票率の目標とそれに対する対策を伺う
市長 教育長	塩田津（伝建地区）の整備について	① 塩田津（伝建地区）の歴史ある街並みの整備も進み、素晴らしく甦っているが、今後、何年度までの予定か、また整備することの最終目的は何と考えるか ② 整備された家屋はどのような利活用がなされているか伺う ③ 工事の特殊性はあるが施工については市内業者が行っているか、またその公平性は問題ないか伺う

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年 5月23日

通告者(議席番号 11番)

芦塚 典子

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	防災・減災について	<p>1. 地震災害について</p> <p>①4月に発生した「平成28年度熊本地震」による当市の被害は。</p> <p>②市の震災対策はどのようにとられているか。</p> <p>③近隣の活断層は、当市に被害をもたらす要因となるか。</p> <p>④県内の「川久保断層」「西葉(さえ)断層」に対する想定地震の設定はどれくらいか。また想定被害はどれくらいか。</p> <p>⑤「大村一諫早北西付近断層帯」の地震発生を想定した場合、影響は大きいと思われるが、その場合の想定値及び想定被害はどれくらいか。</p> <p>⑥建築物の耐震化や、災害時の緊急輸送道路や避難路の確保はできているか。</p> <p>⑦被災後の仮設住宅やがれきの撤去等早期の復旧作業のための具体的な施策を伺う。</p> <p>⑧「嬉野市地域防災計画」は、「改正耐震改修促進法」による建築物に対する指導等の強化や支援措置を拡充し、震災被害の軽減を図る必要があると思われるがいかがか。</p> <p>2. 水災害に関する防災・減災対策について</p> <p>「平成27年9月関東・東北豪雨」は台風18号の上陸による災害であるが、当時アメダス観測値によれば、24時間雨量として、日光市五十里で551.0ミリ、日光市今市で541.0ミリ、期間降水量は今市で645.5ミリ、五十里で622.0ミリなど栃木県の各所で500ミリ以上を観測している。</p> <p>①このような雨量を観測した場合、当市の災害・減災対策はどのようにとられるか。</p> <p>②主な被害として、国管理の5河川と都県管理の80河川で堤防の決壊、越水や漏水、溢水、堤防法面の欠損・崩落など発生している。当市の被害および被害額はどれくらいを想定されるのか。</p> <p>③この災害は3県にまたがる災害で緊急消防援助隊や消防防災</p>

<p>市長</p>	<p>子育て支援施策について</p>	<p>ヘリ35機、海上保安法のヘリ、警察災害派遣隊、陸上自衛隊など多くの派遣と復旧ボランティアなど数千人の参加活動を受けている。当市の災害時の支援活動等の受け入れ態勢はどのようになっているか。</p> <p>④この災害で、排水機場が一カ所水没し、ポンプ4基全部が停止している。市内のポンプ場の「耐水化」は十分か。</p> <p>⑤最近の災害は、洪水被害や大規模な水災害など頻発・激甚化している。こうした災害に対処するため、時間軸に沿った防災行動計画いわゆる「タイムライン」を関係機関で策定・活用し大規模災害に対する防災・減災対策の推進を図るべきではないか。</p> <p>1. 年少人口割合、生産年齢人口と老人人口割合の推移を伺う</p> <p>①過去5年間の推移。</p> <p>②2040年の将来推計のそれぞれの人口割合。</p> <p>2. 現在の合計特殊出生率は。</p> <p>3. 「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「基本目標③」に「嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる」ことを挙げ、数値目標に出生数1100人(5年間累計)、合計特殊出生率1.75(平成31年)と挙げられている。</p> <p>①どのような施策で数値目標を達成されていかれるか伺う。</p> <p>②「こどもセンター」の整備、「地域子育て支援センター」の充実並びに「ファミリー・サポートセンター」の充実を図ることを具体的な施策に掲げられているが、実施状況を伺う。</p> <p>③中央公民館の一角をこの3つの施策の拡充のための拠点にできないか。</p>
<p>市長 教育長</p>	<p>嬉野市曲について</p>	<p>1. 嬉野市曲「ふるさとの空よ」の制作の経緯と趣旨を伺う。</p> <p>2. 市内の小学校の入学式にビデオを公開する意図を伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 27 日

通告者(議席番号 4 番)

増田 朝子

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	学童保育について	<p>「嬉野市子ども・子育て支援事業計画」が策定され1年が過ぎた。また、塩田地区の放課後児童クラブも各保育園から学校への移行と、6年生までの受け入れが始まって3年が経過した。そこで以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 放課後児童クラブの現在の状況と課題は。 ② 大野原小学校児童クラブ開設の経緯と運営状況を伺う。 ③ 児童クラブにおいて今後、利用児童数の見込みはどのように考えるか。また教室の広さは適切か。 ④ 放課後児童支援員の確保についてどのように考えるか。
市長	女性の活躍について	<ul style="list-style-type: none"> 1 「嬉野市特定事業主行動計画」について <ul style="list-style-type: none"> ① この計画策定の経緯と概要を伺う。 ② 相談、情報提供の窓口及び委員会の設置はどのようにされるか 2 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」について <ul style="list-style-type: none"> ① この会の概要を伺う。 ② 具体的な活動は何か。 3 「うれしの女性活躍推進会議」の設置をしてはどうか。
市長	ボランティアについて	<p>4月23日に行われた「うれしの茶手摘み」における市職員のボランティアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市職員へのボランティア要請に至る経緯の説明を。 ② 市職員へのボランティア要請に対する市長の見解を伺う。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年5月27日

通告者（議席番号15番）

織田 菊 男

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	公共建築物の老朽化対策について	<p>高度成長期に整備された公共建築物の耐用年数が近づいているが、</p> <p>① 嬉野市の現状は、どのようになっているのか。</p> <p>② 公共施設等総合管理計画における調査結果は。</p> <p>③ 公共建築物の現在の修理費及び早急に行わなくてはならない所と修理費、また今後の見通しは。</p> <p>④ 公共建築物の老朽化が進んでいるが、財政的には大丈夫か。また職員（技術職職員）はいるのか。</p> <p>⑤ 事後保全から予防保全を円滑に行うため、財政的・技術支援が国（県）からあると思うが、現在利用されているのか。</p> <p>⑥ このままでは、公共建築物を維持していくためには、巨額の資金が必要になると考えられるので、今後民間の活用を考えているのか。</p>
市長	市役所の組織機構改革について	<p>嬉野市は合併時の人口が30,000人台だったが、現在27,000人台となっている。今後、減りはしても増えることは無いと思う。</p> <p>① 部長制度の廃止を考える時期がきたのではないか。</p> <p>② 合併時より課の増減は。</p> <p>③ 職員の適正な配置はできているのか。</p> <p>④ 今後の職員数の見通しは。</p> <p>⑤ 中途採用はどう考えているのか。</p> <p>⑥ 職員の課をこえた兼務は考えておいでか。</p> <p>⑦ 組織機構改革による組織の簡素化ならびに、責任の明確化をすべきではないか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	空き家について	<p>① 空家等の適正管理に関する条例が一部改正されたことによって、どのように業務内容・対応が変わったか。</p> <p>② 現在の空き家の件数及び増減は。</p> <p>③ 空き家の判断基準は。</p> <p>④ 空き家バンクの利用及び登録状況を伺う。</p> <p>⑤ 条例にかかる空き家に対応した戸数は。また、処理の理由・方法は。</p> <p>⑥ 昨年も質問したが、空き家の貸し出しのあっ旋を仲介することは考えていないか、再度伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 16 番)

西村 信夫

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野市地域防災計画について	① 最大震度7の地震が連続して発生した平成28年熊本地震を受け、各自治体などが、災害時の対応などを定めた「地域防災計画」に、同様の事態を想定した対策案を盛り込む方向で見直しを検討しているが、本市の見直しはどうか。 ② 防災拠点となる嬉野庁舎の耐震化はなされておらず、災害時の住民救助や避難支援、インフラ復旧などに支障が出る。庁舎の耐震化はどうか。 ③ 嬉野市内の公共施設等の耐震化は優先して取り組むべきと考えるが市長の所見を伺う。 ④ 本市内のホテル、旅館など不特定多数の者が利用する建築物の耐震化はどのようになっているか。
市長 教育長	嬉野市特定事業主行動計画について	① 平成22年末までの「特定事業主行動計画」と今回公表した28年策定版「特定事業主行動計画」の主な変更点を具体的に示されたい。 ② 行動計画の職員への周知、活用できる職場の雰囲気をつくるためには管理職の役割が重要と考えるが、管理職への啓発について具体的どのような取り組みをされるか。 ③ 県費負担職員について「市町村の教育委員」が策定するとされているが、本市の取り組みは。
市長	所有者不明農地について	① 全国的に所有者不明、特定できない農地が増えているが本市の現状を伺う。また、遊休農地、荒廃農地の解消について取り組みを伺う。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28年5月 30日

通告者(議席番号 9 番)

山下 芳郎

嬉野市議会議長 様

記

相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	嬉野小学校跡地に「こどもセンター」の設置を	<p>① 「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にある「こどもセンター」整備の進捗状況を伺う。</p> <p>② 嬉野小学校跡地の活用策として少子化対策につながる「こどもセンター」の設置ができないか伺う。</p> <p>③ 図書館の移設と子どもの遊び場の設置は考えられないか。</p> <p>④ 相談者に対して、ワンストップで対応できる運用の考慮を図るべきと思うが如何か。</p>
市長	ドローンの活用方法について	<p>① 以下の点について、自治体としての有効活用方法が考えられないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策（人命救助、河川氾濫対策、土砂・山林被害把握等） ・ 山間地等僻地への輸送手段 ・ 定期点検、測量（山林、橋梁等）等 ・ イベントその他 <p>② 民間も含めた活用法の研究を検討しては如何か。</p> <p>③ 規制はどうなっているのか。</p>
市長	農業問題について	<p>① 多面的機能支払交付金の支払時期及び運用について伺う。</p> <p>② 市内の農業経営体（個人、集落営農）の法人化の進捗状況と課題について伺う</p>

市 長	高レベル放射性廃棄物の最終処分について	<p>③ 機械利用組合、営農組合の今後の展開について伺う。</p> <p>④ 有害鳥獣対策の補助について伺う。</p> <p>① 玄海町長が核のゴミ最終処分受け入れについて前向きな発言をしているが、市長の考えを伺う。</p> <p>② 原発を再稼働するならば、並行して「核のゴミ最終処分」についても推進していく事が国の責任と思うが如何か。</p> <p>③ エネルギー問題は、国がしっかりと何年後に原発を終わらせると示すべきと思うが、如何か。</p> <p>④ 再生可能エネルギーも頓挫している状況である。国が責任をもって推進すべきことと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>⑤ 玄海原発を抱える本県の課題に、県下自治体でまとまって取り組むべきではないかと思うが如何か。</p>
-----	---------------------	---

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第6 1条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 3 番)

川内 聖二

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	新幹線の高架橋について	<p>平成34年の開業予定に向けて現在、新幹線高架橋の工事も順調に進んでいる。先日、北海道新幹線の視察を行い高架橋の防音壁について話を伺ってきた。そこで当市は、高架橋の防音壁についてどのような構想を持っているか伺う。</p>
市長 教育長	台風等の荒天時の通学について	<p>今年の4月7日は、春の荒天で嬉野市では、朝3時から9時まで秒速が風速10m程の強い風が度々あり、朝6時頃は風速35mの突風を観測し家も揺れるほどの荒天であった。</p> <p>当日は、春の交通安全週間でもあり通学路の交差点には、警察の方や交通指導員それに各区域の保護者の方々が子供たちの登校を見守られていた。そこで荒天時の通学について伺う。</p>
市長	嬉野市公衆無線 LAN サービスについて	<p>現在嬉野市公衆無線 LAN サービスの bihada Wi-Fi と Ureshino City Wi-Fi を、観光客の皆様や増加傾向にある海外から来訪されている方々、また来庁された方の利便性を良くするために設置してもらっている。現行で利用できる時間帯は、6時から22時となっているが、設置場所によっては現行のままでも十分なところもあれば、22時まででは利用時間が短い設置場所もあるのではないかと思う。そこで利用時間について伺う。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 6 番) 辻 浩 一

嬉野市議会議長 様

記

NO 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	当市で災害が起きた場合の 対策について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支援物資受け入れ場所の確保は十分にできているのか。 2. ボランティア受け入れについて、社協との連携はどうなっているのか。 3. 罹災証明の発行の手順はどうなっているのか。 4. 復興住宅予定地の想定はしているのか。 5. 殿ノ木庭地区のように、地域によっては避難路の確保が必要な場所があるのではないか。 6. 文化財が被災した場合、復旧の早急な着手は出来るのか。 7. 嬉野庁舎の耐震化について今後の考え方は。
市長	地域コミュニティについて	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交付金の算定方法は。 2. 予算執行の方法は。 3. 予算を増額し、コミュニティ活動の幅を広げてはどうか。

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 13 番) 梶原陸也

嬉野市議会議長 様

記

NO

質問の相手	質問の事項	質問の要旨 (具体的に)
市長	防災対策について	<p>1. 4月に発生した「平成28年熊本地震」を受けて本市の対応は適切に行われたのか伺う。 ①発生当日の初期対応はどうだったか。 ②被害確認ならびに避難者の誘導等は。 ③被災地支援については。</p> <p>2. 地域防災計画の見直しはなされるのか。</p> <p>3. 平成23年6月議会で罹災証明書の発行がスムーズになされるよう被災者支援システムの導入を提案したが、その後どう対応されたのか伺う。</p> <p>4. 「国土強靱化地域計画」の策定予定はあるのか。</p>
市長	若者の政策形成過程への参画について	<p>選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」となる、今夏の参議院選挙を前に若者の政治参画を促す取り組みに注目が集まっている。 若者が社会における影響力を実感できるような取り組みが必要である。 本年2月、内閣府において新たな「子供・若者育成支援推進大綱」が定められたが、本市における取り組みはどのようになされるのか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成 28 年 5 月 30 日

通告者(議席番号 1 番)

生田 健児

嬉野市議会議長 様

記

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	景観保全について	<p>嬉野市の景観保全に対する考え方を伺う。</p> <p>① 以前に比べ小規模の太陽光発電パネルの設置が目立つようになったが市はこの事にどのような考えを持っているのか。</p> <p>② 現在の状況と将来に向けての課題は。</p>
市長	商工会との関わりについて	<p>① 商工会の関わりについてどう考えているのか。</p> <p>② 元の商工会館（嬉野事務所）について</p>
市長	情報発信について	<p>① 嬉野市の情報発信についてどう考えているのか。</p> <p>② 佐賀県の情報発信についてどう考えているのか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

平成28年5月30日

通告者(議席番号 17 番)

山口 要

嬉野市議会議長 様

記

NO. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	今後の政策・施策展開における問題について	<p>1. 本市で策定されている各種計画書について</p> <p>① 現在、策定された計画書で、継続中のものはどのようなものがあるか。またそれぞれ策定に要した費用はいくらか。</p> <p>② それらの計画書は総合計画に基づいたものとなっているか。また、それぞれに統合性や統一性は保たれているか。</p> <p>③ 計画書策定におけるプロセスの中で、職員や市民の関与は、どのような状況か。</p> <p>④ 現在、政策・施策を展開している中で、計画書に沿って事業は遂行されているか。</p> <p>⑤ 計画書におけるPDCAサイクルの展開は不可欠であると考えているが、本市の状況はどうか。</p> <p>⑥ 今後の策定において、ファシリテーターの活用を検討する考えはないか。</p> <p>2. 他市町との政策連携について</p> <p>① 政策遂行していく中で、現状における他市町との連携はどのような状況か。</p> <p>② 政策的に先進的な他市町と政策協定を結ぶことも必要ではないか。</p> <p>3. 首長・自治体研究会について</p> <p>① 本市が加盟している首長・自治体研究会はどのようなものがあるか。また、その研究会の中身の状況はどうか。</p> <p>② 「元気な地域づくりを考える首長研究会」や「全国都市改善改革自治体研究会」について知り得ているか。</p> <p>③ 「地域に飛び出す公務員連合」について、来年本市で開催予定とされているが、会議のテーマとしてどのようなものを考えているか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	平成28年熊本地震関連について	<p>4. 地方版総合戦略について</p> <p>① 今年度から事業展開を図っていく中で、問題点として、どのようなものが考えられるか。</p> <p>② 今回数値目標と施策ごとの重要業績評価指標（KPI）が設定された。しかし、数値目標が強調されることにより、目先、いわゆる短期的な成果を求めがちになるのではないか。</p> <p>③ 政府の看板政策が、いつの間にか「地方創生」が尻すぼみになり、「一億総活躍社会」へとすり替わってきているような気がするが、どう考えているか。</p> <p>1. 災害時の対応について</p> <p>① BCPについての現状と、今後に向けての対応は、どのように考えているか。</p> <p>② 耐震診断や耐震工事に対する補助制度を設けるべきではないか。</p> <p>③ 本市では仮設住宅の建設候補地は確保されているか。</p> <p>④ 嬉野庁舎の耐震問題が指摘されている。今後についての考え方はどうか。</p> <p>2. 観光問題について</p> <p>① 熊本地震による本市観光への影響や、また影響額はどのような状況であったか。</p> <p>② 今後、観光客を取り戻す対策として、どう取り組んでいく考えか。</p> <p>③ 高層旅館の耐震対策の進捗状況はどうか。また、他の旅館における安全性は確保されているのか。</p>
市長 教育長	食品ロス問題について	<p>1. 給食問題について</p> <p>① 本市における給食の食べ残しは、小・中校それぞれ、どのような状況か。</p> <p>② 食べ残し対策を含めた食生活改善推進事業に対する取り組みは図られているか。</p> <p>2. 「30・10（さんまる・いちまる）」運動について</p> <p>① 長野県松本市では、乾杯の後30分間と終宴前10分間は料理を楽しむ「残さず食べよう30・10運動」に取り組まれている。本市でも検討してはどうか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	建設工事について	1. 東亜建設工業問題について ① 塩田中を施工した東亜建設工業についていろいろな改ざん工事問題が生じてきている。このことについて、どのように考えているか。
市長	子ども政策について	1. 子ども・子育て支援制度について ① 新しい子ども・子育て支援制度が、昨年より施行された。1年経過する中で、本市の取り組むべき課題と問題点はどのようなものか。 ② 嬉野市子ども・子育て会議が設置されているが、その中でステークホルダー(利害関係者)の位置づけは、どうなっているか。 2. 子どもにやさしいまちづくりについて ① 本市における現状の取り組みと、今後に向けての新しい取り組みをどのように考えているか。 ② 子どもの権利を、より具体化するためにも「子ども条例」の制定が必要ではないか。 3. 子どもの貧困対策について ① 以前より、いろいろな角度から提案や質問があっている。現状での対応はどうか。 ② 武雄市では、子どもの貧困実態調査を考えているという。本市でも検討すべきではないか。
市長 教育長	教育問題について	1. 委員会報告について ① 今議会に文教福祉常任委員会より視察報告書が提出された。このことについてどう受けとめたか。 ② 限られた予算枠とはいえ喫緊な問題もある。今後の取り組みに対する考え方はどうか。 2. 児童の登下校時問題について ① 不審者から児童を守る手段として、本市における登下校時の対応は万全に図られているか。 ② 児童の個人情報を外部に知らせないために、登下校時は名札を外し、校内でつけるように指導している学校が増えてきている。本市でも検討してはどうか。 3. 岡田三郎助キャラバン隊について ① 県立美術館が、岡田三郎助の作品を学校に持参して解説するキャラバン隊が、県内各学校に派遣されている。本市でも希望する考えはないか。